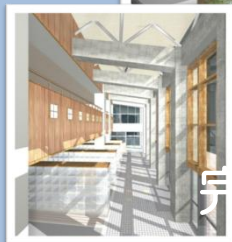


安積黎明高等学校災害復旧(校舎改築)工事 現場研修レポート

(郡山市長者 2-3-3 地内)

平成 25 年度 第 1 回現場研修会を開催しました！



完成イメージハウス

県中建設事務所は、平成 25 年 10 月 24 日（金）日本大学工学部建築学科学生の技術力の向上を図る事を目的とした現場研修会を開催しました。

現場研修会には、日本大学工学部建築学科学生 21 名と、同教職員 3 名、県中建設事務所技術職員 6 名、計 30 名が参加しました。

開催場所は安積黎明高等学校災害復旧（校舎改修）工事現場です。

会場では、県中建設事務所職員が現場研修の主旨の説明し、陰山建設根本現場監督員による現場の説明があった後、参加者達は、現場研修を行いました。

工事概要

- 安積黎明高等学校の教室棟は平成 17 年度に実施された耐震診断の結果、コンクリート強度が低い施設である事（13.5N/mm² 未満）が判明し、改築する方針が出されていました。その後、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、校舎は、柱、梁、耐力壁などの主要構造部に大きな損傷を受け、建物使用が不可能となったことから、緊急的に平成 23 年度中に基本・実施設計を進め、平成 26 年 3 月を目途に校舎を改築することとなりました。

〔工事名称〕	安積黎明高等学校災害復旧（校舎改築）工事
〔工 期〕	平成 24 年 10 月 16 日 ～ 平成 26 年 2 月 7 日 (約 16 ヶ月)
〔工事場所〕	郡山市長者 2-3-3 地内
〔発注者〕	福島県教育委員会
〔受注者〕	(建築) 陰山建設・光建工業・伊藤建設 JV (電気) 三友電設 株式会社 (機械) 株式会社 内藤工業所
〔工事内容〕	(校 舎) 鉄筋コンクリート造地上 4 階建延べ面積 6,399.29 m ² (渡り廊下) 鉄筋コンクリート造地上 2 階建 1 棟 鉄骨造 平屋建 3 棟 (付属建物) ポンプ室、部室棟 (付属設備) EV 1 基、多目的トイレ、太陽光発電システム 等 (その他) 屋外整備工事、既存校舎改修（改築校舎接続に伴う改修）



改築計画のコンセプト

- ①次世代の教育環境に適応した校舎
 - ・教科書の A 版化（机サイズの拡大化）に対応するため、教室の面積を拡大
 - ・南面する教室数を増やす
 - ・中庭を整備して生徒の憩いの場をつくる
- ②既存校舎とのつながりに配慮した人にやさしい校舎
 - ・ユニバーサルデザインの思想に基づいた建物（バリアフリー化 等）
 - ・既存校舎とのつながりと考慮した階高の設定
 - ・既存校舎、周辺環境と調和する色彩計画
- ③安心・安全な校舎
 - ・耐震安全性の高い構造（RC-ラーメン構造）
 - ・耐久性の高い外装塗材（アクリルゴム系複層仕上塗材）
- ④省エネルギーで環境にやさしい校舎
 - ・採光、通風性に配慮した配置及びびゾーニング計画
 - ・太陽光発電システムにより自然エネルギーを積極的に活用
 - ・高効率な照明器具及び各種センサーの採用

現場研修状況



はじめに県中建設事務所職員より研修会の趣旨やポイントを説明し、この現場研修会を通じて現場に触れることにより、机上では得られない技術力の向上を図ってもらいたいと話しました。

その内容は、建物を建築する上で最も重要な基準墨についての説明や、この機会に現場の寸法を体感してほしいという事です。普段使用しているコンセントやスイッチの高さ、バリアフリー対応にあたっての仕上げレベルと下地のレベル等を意識して見る事により、机上とは違う視点から基本となる寸法や納まりを学んで頂く事を期待しました。

今回の現場研修会は現場の状況が仕上げ工事なので、着工から躯体工事までの流れを陰山建設根本現場監督員が説明した後、参加者達は研修を行いました。



現場においては、根本現場監督員の説明にそって場内を巡り、県中建設事務所技術職員及び根本現場監督員達は、参加者達の質問に答えました。参加者達は、おのおのスケールで現場を図りながら現場の寸法を体感し、普段触れることの出来ない工事の様子に目を輝かせていました。

実際に、現場で働く人たちに触れ、肌で体感できた事は、参加者達にとってとても貴重な経験になり、これをきっかけとして新たな疑問が生じたり、学びたい事が増えたりと建設業に関心を持って頂きました。将来を担う若手技術者が、今回の現場研修を通じて建設業界の発展に繋がっていく事を期待して、研修会を終えました。

おわりに

- ・今回の現場研修会は震災で被災した高等学校で行われました。安積黎明高等学校に通う生徒達が一日も早く新しい校舎で楽しい高校生活を送れるようにと、工事に係る全ての方達が、日々努力しています。
- ・現場研修会にご協力頂きました施工会社の皆様には御礼申し上げます。
- ・これからも、これからの建設業界を担う学生達の技術力向上の為現場研修会を開催していく予定です。



◇問い合わせ先

福島県県中建設事務所 企画調査課

住所：〒963-8005 郡山市清水台 1-6-21 山相郡山ビル

TEL：024-935-1449

E-mail：kentyuu.ken@fukushima.jp

HP アドレス：<http://www.pref.fukushima.jp/kenchu/kensetsu>

現場見学会の様子が各紙に掲載されました！

改築現場で技術学ぶ 県中建設事務所 大学生が実地研修



改築中の校舎で説明を受ける学生ら

県中建設事務所は25日、郡山市の安積黎明高で、日大工学部の建築学科の学生を招き、現場研修会を開いた。同校は東日本震災で大きな被害を受けたことから、今年2月まで、学生らが校舎改築の種

子を見学した。同校は東日本震災で主大工学部建築学科の学生を招き、現場研修会を開いた。同校は東日本震災で大きな被害を受けたことから、今年2月まで、学生らが校舎改築の種

研修会はこの機会を活用し、実際に大規模構造物の工事現場を見てもらうことで、学生らの机上では得られない技術力の向上を図ろうと企画した。同学科の1、3年生が参加し、座学で説明を受けた後、実際に工事が行われている現場を見学し、耐震安全性の高い構造の採用やユニバーサルサインへの対応など施工状況に加え、地盤の木材を使用した内装材や、地盤地酒への取り組みを学んだ。学生の見学に同行した同学科の浅里和茂教授は「図面からどのよう

とも多く、貴重な体験として現場の声を話し、学生らは真剣な表情で聞いた。

郡山市の現場で開かれた。大震災で主要構造部に

平成 25 年 10 月 27 日

民友新聞

平成 25 年 10 月 27 日

民報新聞

安積黎明高復旧工事を見学
日大工学部の建築学科生

安積黎明高の復旧工事の現場を見学する学生

県中建設事務所主幹の安積黎明高復旧工事の現場を見学する学生

日大工学部建築学科の学生が工事概要を理解を深めた。

同校教頭は東日本大震災で主要構造部に

大きな損傷を受け、物の使用が不可能となったことから、校舎を改築している。今回は地元建築を学ぶ学生に復旧工事の現場を見学してもらおうと企画した。学生27人が参加した。同事務所の職員と施工会社の担当者が、工事全体の概要、内装工事の概観などについて説明した。学生は震災による被害の大きさを実感しながら、復旧の取り組みに感心していた。

